

2013年(平成25年)12月6日 金曜日

岐 阜 新 聞



酒かすから新商品開発

「社是は不易流行。酒造りの伝統を守りながら、常に新しくユニークな商品を提供することでお客さまの信頼に添えていきたい」と話すのは、創業144年の老舗造り酒屋渡辺酒造店(飛騨市古川町老之町)の渡辺久憲社長(45)。

近況

30歳の時から専務として店の経営に腕を振るっていたが、先月の定時株主総会と取締役会で父親の指名を受け、第9代目社長に就任した。消費者の日本酒離れで苦境にあえぐ清酒業界にあって、同店はここ20年、毎年、右肩上がりですり上げを伸ばしている。年間の生産量は4500石(一升瓶約45万本)で県内の酒造店ではトップ。観光客らを対象にした酒蔵祭りを開催したり、副産物の酒かすから新しい商品の開発も手掛けている。「酒造りを通して飛騨古川を全国にアピールしていきたい」と意気込む。